

第8回湯田小通学合宿報告 実りある成果を残し終了

当協議会の教文体部会が主催する第8回通学合宿が9月30日から3泊4日の日程で行われました。参加した湯田小生は31名でした。(内リピーターは14名) 親、家族から離れて暮らす日数はわずかでも、生徒の体験や学習を通して得たものは大きなものがありました。以下はその取り組みの経過を順を追って紹介します。

実施までには三回の実行委員会が行われました。第一回は6月27日(土)でした。写真は三回目の実行委員会を終えた後、9月12日(土)に行われたオリエンテーションの様子です。参加を希望した児童とその保護者、スタッフが集まり、合宿の内容等を全体として確認する場となります。



合宿第一日目の記録

学校から帰ってきた生徒は早速集会室に集まり、伊藤実行委員長の歓迎と心構えを説く挨拶を受けました。5つの班に分かれミーテ

イグが行われます。各班を担当する学生スタッフも緊張気味です。



今年も食事のスタッフは日赤奉仕団、更生保護女性会、健康推進員、地域づくり協議会の健康福祉部会の皆さんにご苦労をおかけしました。学校から帰った児童たちも料理の手伝い、食事運び、食後の皿洗いと分担して手伝います。

この日のメニューはスパゲティ、カボチャ汁、生野菜、果物でした。カボチャ汁はお替わりをする生徒が多かったように思います。家で毎日味噌汁を作ってもらえるか?と尋ねますと7割ほどが作ってもら

えると答えました。おみそ汁は栄養価が高く、昔からご飯、みそ汁、漬物は定番でした。それぞれの家庭で、子供が朝何を食べて登校するのか興味あるところです。いよいよ夕食。調理のおばさんがメニューやカローラーなどを紹介されます。一班の班長さんの「合掌、いただきます」の合図で手を合わせ、みんなで復唱して食事につきま

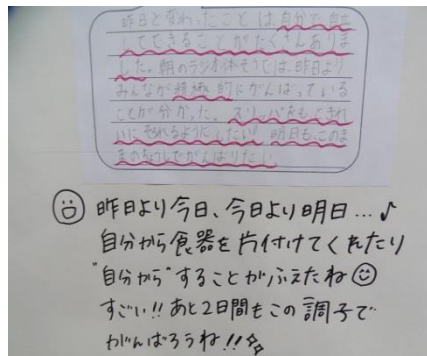


食事が終われば5班に分かれた各班の当番が出て後片づけをします。皿洗いの班は早速出番となります。



食後はお風呂に入ります。初日は公民館のお風呂でしたが、湯船が少し小さく、参加した児童も多いため

に時間がかかってしまい、次年度の反省点となりました。全員入浴を済ませると班会議で一日の反省をします。学生スタッフが指導して一日のよかったこと、悪かったこと、明日から直そうとすることなどの反省文を書き、それを模造紙に張り、その下に学生がコメントします。それを1班から5班まで廊下のボードに張り出しみんなのものにします。写真は児童の反省文に学生スタッフがコメントしたものの一部です。



起床は朝6時です。歯磨き、洗顔をして部屋で身だしなみを整え、6時半からのラジオ体操に臨みます。



二日目の朝食。メニューはご飯とみそ汁、卵焼き、緑野菜、つけもの。



食事後は学校へ行く用意をします。登下校の安全確保には当協議会の安全環境部会の皆さんや湯田学区の西橋老人クラブ連合会長さんにも協力いただきました。



以上が大まかな一日の活動です。この取り組みも8年目を迎え、4日間を通じて100名を超えるスタッフが支えていて下さいますが、一方では高齢化も課題となっています。なお2日目以降の注目される活動の写真は次ページの第3面下段に掲載しました。A4判の拡大写真約40枚は11月の区民祭りで展示します。